

## 別記様式(第5条関係)

## 会議録

会議の名称	第1回登米市商工振興審議会
開催日時	令和7年11月26日(水) 午後3時27分 開会 午後4時53分 閉会
開催場所	登米市役所中田庁舎 201会議室(2階)
議長(会長)の氏名	登米地域商工会連絡協議会 会長 熊谷 肅
出席者(委員)の氏名	登米地域商工会連絡協議会 会長 熊谷 肅 登米ブロック商工会女性部連絡協議会 会長 佐々木ちゑ子 一般社団法人登米市観光物産協会 会長 斎藤恵一 ㈱とよま振興公社 代表取締役 鎌田智之 登米市グリーンツーリズム推進協議会 会長 岩渕芳子 迫職業安定所 所長 板垣秀幸 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 地方振興部長 櫻井達夫 以上7名出席
欠席者(委員)の氏名	登米ブロック商工会青年部連絡協議会 会長 熊谷正史 登米市産業振興会 会長 伊藤秀雄 精進スイーツ結び 代表 熊谷桂子 以上3名欠席
事務局職員職氏名	登米市産業経済部 部長 千葉昌彦 登米市産業経済部 次長兼産業総務課長 佐藤貴光 登米市産業経済部 参事兼観光物産戦略課長 伊藤宏一 登米市産業経済部 地域ビジネス支援課長 松井満 登米市産業経済部 地域ビジネス支援課 主幹兼地域ビジネス支援係長 佐々木克典 主幹兼企業振興係長 佐々木智宏 観光物産戦略課 主幹兼観光戦略係長 佐々木英寿 以上7名出席
議題	審議 (1) 第二次登米市商工観光振興計画(案)について

会議結果	<p>会長の選任 事務局案のとおり「登米地域商工会連絡協議会 会長 熊谷毅」氏が互選により決定</p> <p>会長職務代理者の指定 熊谷会長からの指定により「一般社団法人 登米市観光物産協会 会長 斎藤恵一」氏に決定</p> <p>諮問書の提出 市長から熊谷会長に対し、別添「諮問書」を提出</p> <p>審議 (1) 第二次登米市商工観光振興計画（案）について …次ページ以降の意見を踏まえ、掲載内容を再度検討していくこととした。</p>
会議経過	別添のとおり
会議資料	資料1 第二次登米市商工観光振興計画（案）概要 資料2 第二次登米市商工観光振興計画（案）

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
	<p><b>7. 審議</b></p> <p>(1) 第二次登米市商工観光振興計画（案）について 別添資料1及び2に基づき事務局から説明後、各委員から以下のとおり意見がありました。</p>
委員	<p>キャッチフレーズの「出会い」という言葉には、観光だけでなく、求職者と企業の出会いなど広い意味が含まれており良いと感じた。</p>
事務局	<p>職員や委員会での検討を経たもの。観光客同士、既存企業と誘致企業の交流など、多面的な意味を込めている。</p>
委員	<p>観光振興と「みやぎの明治村」の現状について、観光客数は震災とコロナで二段階に減少し、戻っていない。みやぎの明治村の武家屋敷の門や塀などは震災の被害や老朽化で傷んでおり、空き家も増えている。「街並みの再整備」が必要ではないか。</p>
事務局	<p>観光客数はR1年の347万人からR2年に激減し、現在は292万人まで回復したがまだ途上。明治村は市の「顔」であり、維持管理や対策を検討していく。</p>
会長	<p>商工業者数のR17年の目標について、人口減少の中で維持するのは大変なこと。事業承継問題や廃業検討者も多い。商工会会員だけでなく、地域全体の内需、潤う視点が必要。</p>
事務局	<p>人口減少対策として、ビジネスチャンス支援事業による雇用創出や、奨学金返還支援による若者の地元定着・Uターン促進を組み合わせて取り組む。</p>
会長職務代理者	<p>宿泊施設について、民間活力を利用して「民泊」施設（空き家リノベーション）が増えている。市内のホテル・宿が満杯で市外に流れている現状がある。</p>
会長	<p>ホテル等に「ロードマップ（観光案内図）」を掲示し、宿泊客を市内観光へ誘導すべき。</p>
事務局	<p>ホテルの新規誘致は困難だが、体験や食などの「コンテンツ」を充実させ、滞在時間を延ばす方針。宿泊稼働率は平均50%だがイベント時は不足するため、民泊等も含めたキャパ拡大を図る。</p>
会長職務代理者	<p>2次交通タクシー不足について、夜8時以降タクシーが捕まらず、飲食や観光の足かせになっている。</p>
事務局	<p>運転手の高齢化・廃業による深刻な課題と認識。バス・タクシー協会と粘り強く協議を続ける。計画案のP. 39に関連記載あり。</p>

委員	グリーンツーリズムと体験コンテンツについて、インバウンドや修学旅行の引合いは戻ったが、「受入農家の高齢化・減少」が課題。農作業ができない時期や雨天時のために、市内商工業者と連携した「体験コンテンツ」を開発中。案内マップの欠如: TV番組の投書で「長沼から米山の道の駅への行き方が分からず困った」という事例があった。広域的なロードマップが不可欠。
事務局	教育旅行は人気があり伸ばしたい分野。ロードマップについては、既存パンフレットの活用促進や改善を図る。
委員	県でも紙のマップは更新が難しいため、Googleマップ等のデジタルを活用したルート案内を進めているが、周知が必要。
会長	みやぎ県北高速幹線道路と三陸道の登米ICの直結や、北方ICの整備を県に要望し続けているが、進展が遅い。観光・物流に重要。
事務局	重要な課題として認識している。
委員	雇用情勢について、物価高騰で年金生活が苦しく、高齢者の求職が急増している。一方、企業の人手不足とのマッチングは難しい。若者の就労支援も重要。
会長	地元で働きたい若者が優先して働ける環境づくりが必要。
委員	商工会女性部のおもてなしと事業について、観光客が来なければ「おもてなし」もできない。案内して食事して終わりではなく、体験を通じて「泊まつもらう」工夫が必要。
会長	産業フェスティバルは、高校生の参加もあり盛り上がったなど思います。
事務局	市制20周年産業フェスティバルでは、高校生（産業高校など）が装飾や記念品製作で協力し、イベントの成功と売上増に貢献した。
委員	情報提供をよろしいでしょうか。 名鉄観光より、登米市の「宮城の明治村」と愛知県犬山市の「明治村」で連携できないかという話があり、検討中。 水沢県庁記念館建物内にある法廷が「日本で一番古い現存する法廷」であり、裁判所チームから国の重要文化財に匹敵するため大切にしてほしいとの助言があった。
委員	県でも次期観光戦略プラン令和7年度から令和9年度を策定中。市と連携していく。 年1月から導入予定の宿泊税の使途として、宿泊事業者からは「夜のコンテンツとして、伊豆沼の渡り鳥のねぐら入り・飛び立ち」や「2次交通」の整備に使ってほしいとの意見が出ている。